



# 家庭的便利アイテム

---

---

anatomist

---

## 家内安全

---

105円ショップで、夏なら売ってる。

虫取り網！

・安物だからできる改造

①取っ手をみじかくして、室内格闘用にカスタマイズ

②触りたくない虫には、取っ手は長くする。

③虫が天井に張り付いているなら網の針金を曲げて、取っ手と面が90度になるようにする。

④狭いところに差し込めるように、網の針金を長方形など、用途に合った形にする。

・用途、外に干した洗濯物に、カメムシがついていたことに気がついた。

・用途、外に干した洗濯物に、スズメバチがついていたことに気がついた。

虫って、意外に静かにしてるんですもの、外に出たい虫が騒ぎ始めた（もしくはニンゲンが見つけて騒ぎだした）ときに、ビクビクするけど、いろんな意味で触りたくない。

・スズメバチの場合（窓を全開にしてご帰宅願いたい。）

・虫は窓に取りすがっていることが多く、その場合窓は空いていない、最悪ロックしてある。

ロックに手を伸ばしたら、刺されるかもしれない。

・スズメバチの羽音が変わった（攻撃モードスイッチ入っちゃった）

---

財布と携帯電話と家の鍵をもって部屋の外に出て、

「市町村役所に相談してみる（平日5時までですけどね……）」

「消防に連絡してみる（他に思いつかない。）」

「警備会社と契約しているなら、そちらでもいいかも。」

「警察は対応できないでしょう。（でも、連絡先は探してくれるよ^^）」

---

コンビニ・薬局で部屋ごと煙でいぶす装置を買ってくる。（発動には、水が必要です）

その部屋にあるPCやら、精密機器にはシーツをかける

（家の電気のブレーカーを落とす、それでも火災警報装置は電池式でなるかもしれない）

（家のドアに「ただいま、害虫駆除中」と、張り紙をする）

殺虫装置を発動して、占領された部屋に押し込み、自分はファミレス、カラオケ、ネカフェ、満喫などで時間をつぶす2時間ほど。

（使用する薬剤の説明書を十分読んでください。）

部屋のドアを開ける、ブレーカーを上げて換気を始める。絶対に吸わない。換気中は防犯に注意^^

遺体を確認するまでは安心しない（なんだかなー^^；）

十分換気をしてはまだ部屋は、薬臭い、そのまま寝ると悪夢を見るようになる。

部屋に染みついた、薬剤やらシックハウス症候群を引き起こす物質を一気に抜く方法。

部屋を閉め切って、暖房（エアコンとかで、燃焼系は危険なのでダメ）をガンガンかける。  
もちろん家の人は中に入らない。

一定時間放置したら換気をかける。（この繰り返しをする、不動産会社の人推奨の方法）

---

---

予防（つりさげ式の防虫アイテムを物干しざおにつるしておく（有効期限に注意が必要。）

・触りたくないレベルの虫なら、掃除機で吸ってしまう。（もちろん中で生きてるので、殺虫剤も注入する）

・確かに蜂の専門駆除業者も、強力な吸引機をつかって、飛んでる蜂を吸いとりますけど、素人がやって反撃されてもしりませんよ。

・刺されて、毒を吸い出すなら痣になるくらい、強く吸わないといけません。　そんで患部を冷やして、救急車ですね（毒がまわって行動不能になる前に救急車ですよ）、刺した蜂も殺して持ってゆくんですよ無理なら特徴メモ。

以上、記載したも方法の安全性は保証しかねます。　読者は本人の常識をもってこれを参考に  
するかどうか判断するものとして。

君子危うきに近づかず、自分は逃げて、専門業者に委託しましょう。